

大和住銀 DC外国債券ファンド

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：大住DC外債

2024年11月20日から2025年11月19日まで

第 **24** 期 決算日：2025年11月19日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

| | |
|-----------|----------|
| 基準価額(期末) | 25,876円 |
| 純資産総額(期末) | 5,431百万円 |
| 騰落率(当期) | +7.3% |
| 分配金合計(当期) | 0円 |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 期首 | 24,119円 |
| 期末 | 25,876円 (既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | +7.3% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。

※FTSE世界国債インデックスに関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。また、同社は当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。

基準価額の主な変動要因(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行いました。

上昇要因

- F R B (米連邦準備制度理事会)の利下げ期待が高まったことなどを背景に、米長期金利(10年国債利回り)が低下(債券価格は上昇)したこと
- 債券利子収入を得たこと
- 主要通貨が対円で上昇したこと

1万口当たりの費用明細(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|--------------------|-------------|---------------|---|
| (a) 信託報酬 | 337円 | 1.397% | 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は24,155円です。 |
| (投信会社) | (165) | (0.682) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| (販売会社) | (159) | (0.660) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (13) | (0.055) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.005 | 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (-) | (-) | |
| (先物・オプション) | (1) | (0.005) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (-) | (-) | |
| (公社債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) その他費用 | 15 | 0.060 | その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| (保管費用) | (12) | (0.048) | |
| (監査費用) | (1) | (0.005) | |
| (その他) | (2) | (0.007) | |
| 合計 | 353 | 1.462 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

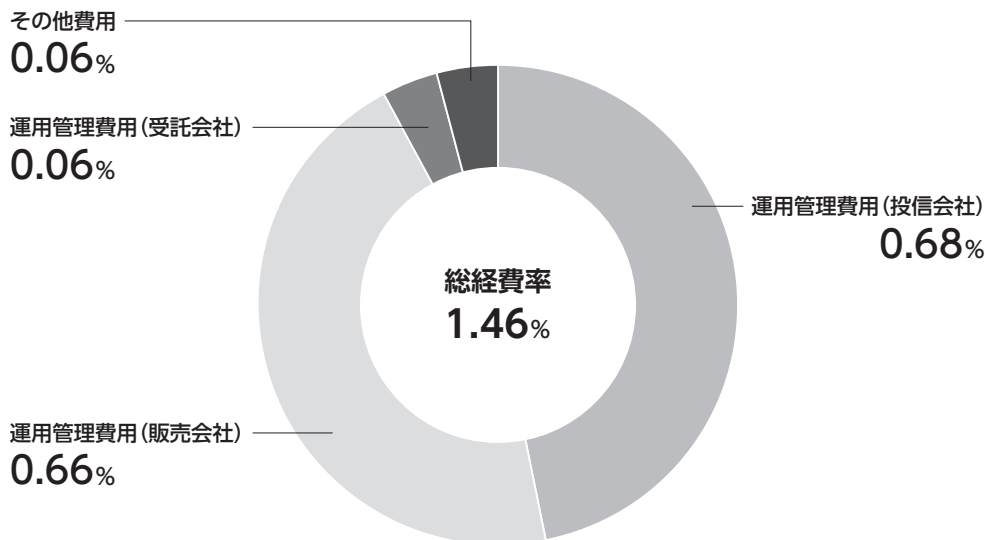
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

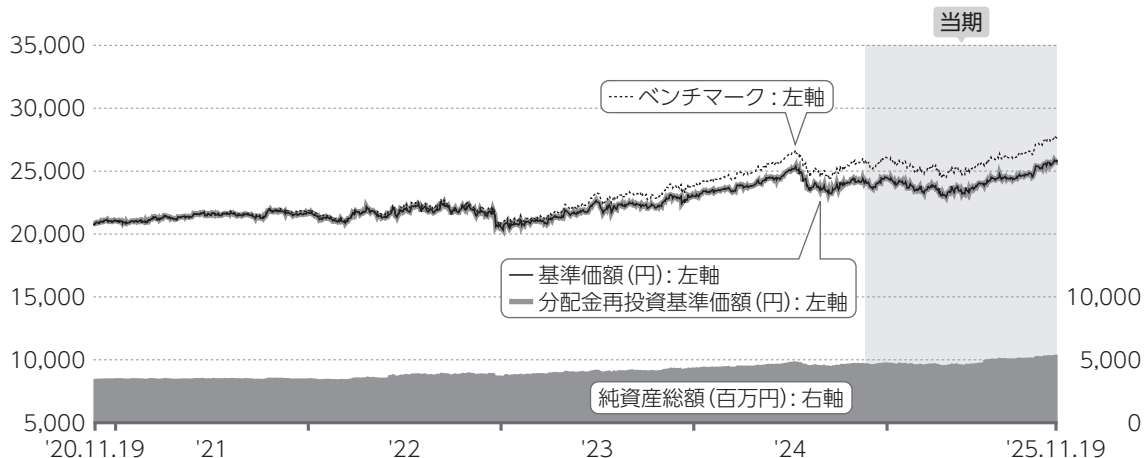
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.46%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年11月19日から2025年11月19日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2020年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化していません。

| | | 2020.11.19 決算日 | 2021.11.19 決算日 | 2022.11.21 決算日 | 2023.11.20 決算日 | 2024.11.19 決算日 | 2025.11.19 決算日 |
|---------------|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 | (円) | 20,717 | 21,742 | 21,697 | 23,046 | 24,119 | 25,876 |
| 期間分配金合計(税引前) | (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%) | — | 4.9 | -0.2 | 6.2 | 4.7 | 7.3 |
| ベンチマーク騰落率 | (%) | — | 5.5 | 0.7 | 8.4 | 7.5 | 8.4 |
| 純資産総額 | (百万円) | 3,469 | 3,561 | 3,901 | 4,377 | 4,727 | 5,431 |

投資環境について(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

米国10年国債利回りは低下し、ドイツ10年国債利回りは上昇しました。為替市場では主要通貨に対して、円安基調となりました。

米国国債市場

米国債利回りは、トランプ新政権による財政悪化懸念やインフレ率上昇リスクを背景に、2024年末から2025年初にかけて上昇しました。2025年2月以降は、米国景気悪化への懸念などから、低下に転じました。6月以降は、米国の雇用創出が減速し、FRBの利下げ期待が高まったことなどから、低下基調で推移しました。

ユーロ圏国債市場

欧州では、期の前半はECB(欧州中央銀行)の段階的な利下げを受け、短期ゾーンの金利は低下しましたが、防衛費増額に伴う

財政支出の拡大が懸念され、長めの年限の金利は上昇しました。その後はECBが追加的な利下げに慎重な姿勢を示したことに加え、拡張的な財政政策が懸念され、長めの年限中心に金利は上昇しました。

為替市場

為替相場は、期の半ばまでは、海外金利の低下や米国からの資金流出懸念を背景に円高基調で推移しました。期の半ば以降は、関税交渉の進展に加え、参議院選挙や自民党総裁選などの政治動向と財政に対する不透明感などを背景に円安基調で推移しました。

ポートフォリオについて(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

当ファンド

主要投資対象である「インターナショナル債券マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。

インターナショナル債券マザーファンド

債券では、ポートフォリオ全体のデュレーション*のアンダーウェイト幅を拡大しました。米国とシンガポールでアンダー

ウェイトを拡大し、ユーロ圏ではアンダーウェイトを開始しました。オーストラリアとポーランドでオーバーウェイトを解消し、英国をオーバーウェイトとしました。カナダのアンダーウェイトを解消しました。

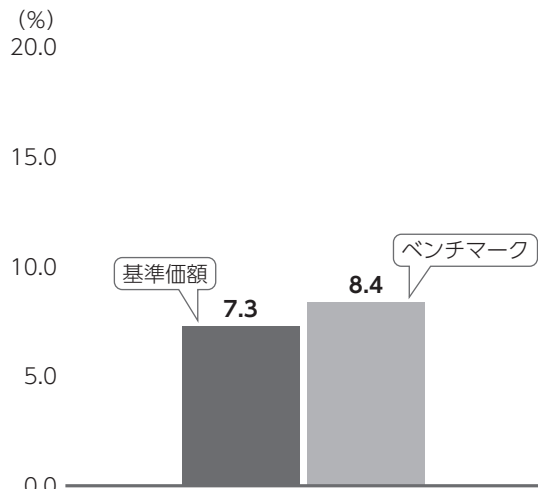
通貨では、米ドルのアンダーウェイトを縮小し、スイスフランをアンダーウェイトとしました。また、スウェーデンクローナのオーバーウェイトを開始し、豪ドルの

オーバーウェイトを拡大しました。英ポンドのオーバーウェイトと日本円のアンダーウェイトを解消しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

ベンチマークとの差異について(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+7.3% (分配金再投資ベース) となり、ベンチマークの騰落率+8.4%を1.1%下回りました。

プラス要因

- ドイツの財政支出拡大や英国での大規模な財政支出への期待が高まったことから、ユーロ圏と英国の長期金利が上昇し、ユーロ圏と英国でのデュレーションのアンダーウェイトがプラスに寄与しました。
- トランプ大統領による相互関税発表などをきっかけに高格付け債券の利回りが低下し、オーストラリアのデュレーションのオーバーウェイトがプラスに寄与しました。

マイナス要因

- トランプ大統領による相互関税発表などを背景とした米ドル安局面で、英ポンドのアンダーウェイトがマイナスに寄与しました。
- 期後半の米ドル反発局面で、豪ドルのオーバーウェイトがマイナスに寄与しました。

分配金について (2024年11月20日から2025年11月19日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第24期 |
|-----------|---------|
| 当期分配金 | 0 |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 15,875 |

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「インターナショナル債券マザーファンド」への投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

インターナショナル債券マザーファンド

米国では、FRBはあと1回の利下げを行うと想定します。米景気の腰折れは回避

されてインフレ懸念が根強く残るとみられることから、長期金利は短期的には横ばい、中期的には上昇の展開を予想します。

ユーロ圏では景気が底堅く推移しており、政策金利は維持される見通しです。ウクライナ問題が続く一方で欧州の財政赤字が拡大方向にあり、長期金利は横ばいの展開を予想します。

投資判断にあたっては、柔軟で綿密なマクロ経済リサーチにより各国経済をモニターしながら、付加価値を生み出すべく慎重に投資戦略を構築する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

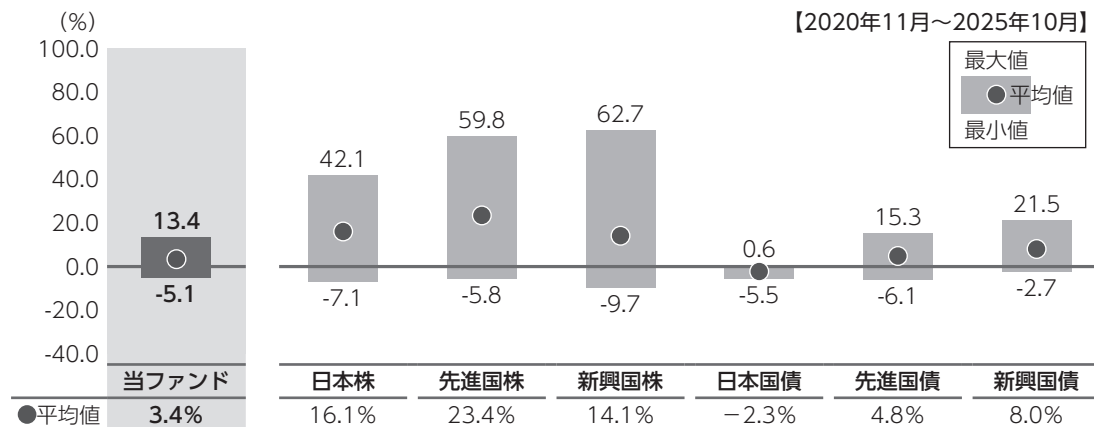
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 無期限(設定日：2001年9月21日) |
| 運用方針 | マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 インターナショナル債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債 |
| 当ファンドの運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■インターナショナル債券マザーファンドへの投資を通じて、海外の公社債へ分散投資を行い、リスクの低減とグローバルな投資機会の獲得により、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。 ■F T S E世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。また、ベンチマーク構成国以外の国の債券へ投資を行うこともあります。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限をティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドへ委託します。 ■実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 |
| 組入制限 | <p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式(転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り。) <p>への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 <p>インターナショナル債券マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使による取得に限り、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | <ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年11月19日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div> |

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

| | |
|-------------|---|
| 日本株 | TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。 |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。 |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。 |
| 先進国債 | FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。 |
| 新興国債 | JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

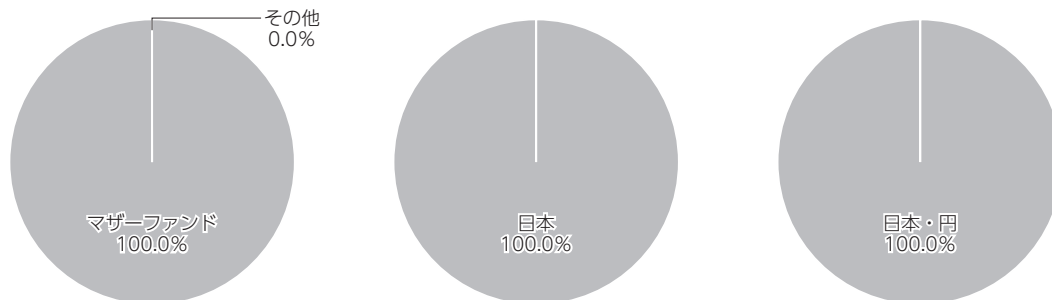
当ファンドの組入資産の内容(2025年11月19日)

組入れファンド等

| 銘柄名 | 組入比率 |
|--------------------|--------|
| インターナショナル債券マザーファンド | 100.0% |
| コールローン等、その他 | 0.0% |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

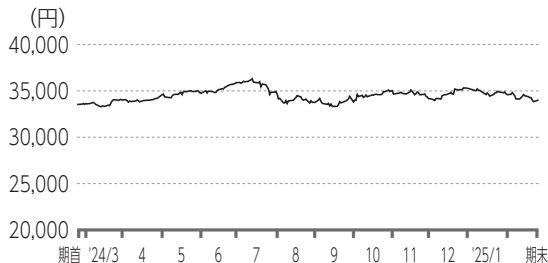
| 項目 | | 第24期末 2025年11月19日 |
|------------|-----|----------------------|
| 純資産総額 | (円) | 5,431,582,075 |
| 受益権総口数 | (口) | 2,099,084,098 |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 25,876 |

※当期における、追加設定元本額は459,393,207円、解約元本額は320,411,313円です。

組入上位ファンドの概要

インターナショナル債券マザーファンド(2024年2月23日から2025年2月25日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

| 項目 | (内訳) | 金額 | (内訳) |
|---------|------------|----|------|
| 売買委託手数料 | (先物・オプション) | 3 | (3) |
| その他費用 | (保管費用) | 28 | (23) |
| | (その他) | | (5) |
| 合計 | | 31 | |

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

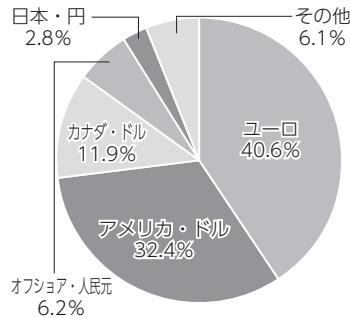
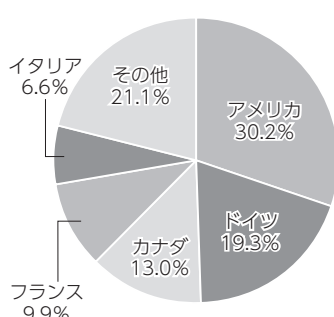
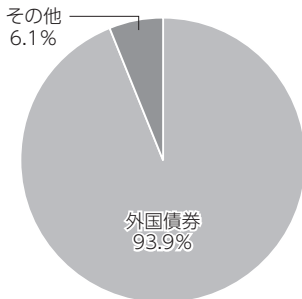
(基準日：2025年2月25日)

| | 銘柄名 | 組入比率 |
|----|--|-------|
| 1 | CANADIAN GOVERNMENT 3.25 11/01/26 | 11.8% |
| 2 | TREASURY BILL 0 05/20/25 | 6.2% |
| 3 | TREASURY BILL 0 05/15/25 | 5.0% |
| 4 | FRANCE OAT. 2.75 02/25/29 | 4.6% |
| 5 | CHINA GOVERNMENT BOND 2.52 08/25/33 | 4.4% |
| 6 | BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 1 08/15/25 | 3.9% |
| 7 | US TREASURY N/B 4.25 02/15/54 | 3.6% |
| 8 | US TREASURY N/B 4.25 11/15/34 | 3.5% |
| 9 | BUNDESOBLIGATION 2.4 10/19/28 | 3.4% |
| 10 | BUONI POLIENNALI DEL TES 3.35 07/01/29 | 3.0% |
| | 全銘柄数 | 66銘柄 |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※外国債券先物を38.5%買建てしています。

※基準日は2025年2月25日現在です。